

第2次匠瑛市食育推進計画 数値目標の達成状況について

基本施策	項目	担当課	数値目標			令和2年度末数値の内訳	備考
			現状値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	現状値 (令和2年度末)		
1 地産地消の推進	食生活において「地元産や旬の食材を取り入れた料理を作る」ことを実行している市民の割合(※)	産業振興課	31.0%	35.0%			
	地元農水産物を使った料理レシピの提供	産業振興課 関係各課	1回/年	5回/年	11回/年	※保健推進委員会「農業まつり」	
	市内農水産物の給食施設での利用	福祉課 学校教育課 市民病院	32品目/年	35品目/年	24品目/年	学校給食センター22品目 保育所 1品目(米) 市民病院 1品目(米)	
	家庭菜園や果物狩り等、農漁業に触れる市民の割合(※)	産業振興課	25.5%	40.0%			
2 家庭・地域における食育の推進	食育に興味を持っている市民の割合(「関心がある+どちらかといえば関心がある」)	産業振興課 学校教育課 健康管理課	61.1%	90.0%			
	食べ残しや廃棄を減らす努力をしている市民の割合(※)	環境生活課 産業振興課	42.3%	50.0%			
3 学校等における食育の推進	農業体験や料理教室など、食育のテーマを取り入れた授業・学習	学校教育課	各校4回/年	各校6回/年	各校6回/年		
4 食文化や郷土料理の伝承	郷土料理や地元農水産物を使った料理教室の開催	産業振興課 生涯学習課	9回/年	12回/年	17回/年	生涯学習室事業5回(太巻き寿司づくり講座、そうさフロンティア学寮)、公民館事業12回(太巻き寿司教室(初級・中級)、男の料理道場)	
	市の郷土料理や特産品を「知っている」市民の割合(※)	産業振興課	各品21~72%	全ての品を40%以上にする			
	匠瑛市では、食の文化や伝統、季節性などを大事にしていると思う市民の割合(※)	産業振興課	31.8%	増加			
5 「食」と健康に関する知識の普及	自分の食事が栄養バランスに偏りがあると不安に思っている市民の割合(※)	産業振興課 健康管理課	30.5%	減少			
	食の安全性に不安を感じている市民の割合(「不安を感じている」+「多少は不安を感じている」)(※)	産業振興課	68.7%	減少			
	朝食で副菜を食べる人の割合(※)	産業振興課 学校教育課	43.9% (成人) 33.9% (小中学生)	50.0% (成人) 40.0% (小中学生)			
	「食事バランスガイドの見方を知っている」市民の割合(※)	産業振興課	26.8%	増加			

【※印について】今後実施予定の市民意識調査(アンケート)における項目のため、回答は不要ですが、これらの項目に類する調査結果等がありましたら、備考欄に記載して下さい。